



平成25年10月25日

各位

上場会社名 中央ビルト工業株式会社
 代表者 代表取締役社長 西本 安秀
 (コード番号 1971)
 問合せ先責任者 管理本部長 石井 裕
 (TEL 03-3661-9631)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成25年5月20日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしますのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成26年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,733	244	215	114	5.55
今回修正予想(B)	3,093	224	215	114	5.55
増減額(B-A)	△640	△20	—	—	
増減率(%)	△17.1	△8.1	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成25年3月期第2四半期)	4,013	230	211	120	5.89

平成26年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,835	561	505	253	12.34
今回修正予想(B)	7,310	561	505	253	12.34
増減額(B-A)	△525	—	—	—	
増減率(%)	△6.7	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	7,309	439	403	322	15.72

修正の理由

第2四半期累計期間の売上高は、機材営業部門、開発営業部門ともに大幅な未達となる見込みであります。要因としては、仮設機材販売では主力製品の出荷のずれ込みに加え、商品仕入販売が先行き高騰の思惑から商材の確保がはかどらず予想を大きく下回りました。仮設機材賃貸は震災復興工事における港湾土木の大型物件が減少し、開発営業部門は想定した新規案件の逸注とずれ込みが重なりました。

一方、利益面では売上高減少に伴う商品仕入れや再リース料の大幅な減少等により利益率が計画を上回ったため、ほぼ計画通りとなる見込みです。

第3四半期以降は製品販売の出荷も好調で売上高も回復に向かう見通しですが、前半の落ち込みを全てキャッチアップするには至らず、平成25年5月20日に公表した第2四半期累計期間並びに通期の業績予想の売上高の数値は未達となる見込みであります。

※上記業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて算定しており、潜在的なリスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な要因の変化により、上記予想とは異なる結果となる可能性もあります。

以上